

中級から伸ばす
ビジネスケースで学ぶ
日本語

Powering Up Your Japanese through Case Studies:
Intermediate and Advanced Japanese

高見智子[著]

Tomoko Takami

筒井通雄[監修]

Michio Tsutsui

監修者まえがき

著者プロフィール (著者)

中級から伸ばす ビジネスケースで学ぶ 日本語

Powering Up Your Japanese through Case Studies:
Intermediate and Advanced Japanese

高見智子[著]
Tomoko Takami

筒井通雄[監修]
Michio Tsutsui

THƯỜNG MẠI HỢP TÁC XÃ VIỆT NAM
TRUNG TÂM THÔNG TIN THƯ VIỆN
18 07
03179

 the japan
times
PUBLISHING

「文法」で使われている記号

N	名詞	nonpast	非過去形
V	動詞	neg.	否定形
Adj(i)	イ形容詞	cond	仮定形（仮定表現「～ば」の「ば」の前に来る形）
Adj(na)	ナ形容詞		
S	文	stem	語幹
plain	非丁寧形	Vmasu-stem	動詞の連用形（ます形の「ます」の前に来る形）
past	過去形		

中級から伸ばす

ビジネスケースで学ぶ日本語

2014年 6月20日 初版発行

2022年 3月20日 第9刷発行

著者：高見智子／監修者：筒井通雄

発行者：伊藤秀樹

発行所：株式会社 ジャパンタイムズ出版

〒102-0082 東京都千代田区一番町2-2

一番町第二TGビル2F

電話 050-3646-9500 (出版営業部)

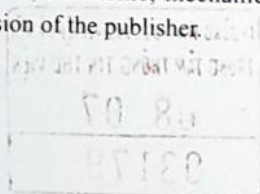
ISBN978-4-7890-1567-7

Copyright © 2014 by Tomoko Takami

All rights reserved. No part of this publication may be reproduced, stored in a retrieval system, or transmitted in any form or by any means, electronic, mechanical, photocopying, recording, or otherwise, without the prior written permission of the publisher.

First edition: June 2014

9th printing: March 2022



Chinese/Korean translations and English copyreading: Umes, Corp.

Editorial design and typesetting: DEP, Inc.

Cover art: Hiroki Yamaoka

Published by The Japan Times Publishing, Ltd.

2F Ichibancho Daini TG Bldg., 2-2 Ichibancho, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0082, Japan

Phone: 050-3646-9500

Website: <https://jtpublishing.co.jp/>

ISBN978-4-7890-1567-7

Printed in Japan

監修者まえがき

高見智子さんがペンシルバニア大学でビジネスケースを使って日本語を教え始めたのは2007年からだ。以後、数年にわたって教材の改訂や教え方の改良を続けるうちにその効果について自信を深め、この教材の出版を決意したと聞いた。

高見さんから本書の監修依頼を打診された時、私は、それまでに彼女がビジネスケースを使ったユニークな教え方で効果を上げていることは聞いていたが、それ以上の知識はなかった。しかし、私自身、上級の専門日本語を長年教えている関係でこの教材には興味があったので、監修を引き受けた。

もらった草稿を見ると、これはいわゆる「ビジネス日本語」を教えるための教材ではないことが分かったが、その方法論は学習者の日本語運用力を大きく伸ばせるものであると確信し、かえって興味が増した。

事実、高見さんによると、学生はコースが始まった直後はとても静かでなかなか口を開かないが、勉強の仕方に馴染んでくると、見違えるように積極的に発言するようになるという。これは取りもおさず、内容が彼らの知的好奇心を刺激し、与えられたビジネスケースの課題について自分で調べ、考えたことをみんなに伝えたいという自然な欲求が、自発的で活発な発話として現れるからに他ならない。つまり、この教材は、日本語を教える以前に、課題について自分で徹底的に考えさせるところに大きなポイントがあり、それを巧みなscaffolding（足場作り）によって発話に導くことで、高い学習効果を上げることができるのである。

第二言語学習の最近の知見によれば、外国語の運用力を伸ばすには、文法・語彙などを教科書や講義を通して学ぶ「明示学習」だけでなく、学習したことを無意識に使うことで起こる「暗示学習」が必須であるという。これは、いくら知識を詰め込んでも、それだけでは言葉が使えるようにはならないという我々の個人体験からも納得のいく理論であり、本書はこの最新の理論にもよく沿っている。

この本が多くのご日本語プログラムで使われ、学習者と教師がその成果を喜び合えることを願っている。

2014年5月

筒井通雄

はしがき

本書は、中級・上級レベルの日本語学習者がビジネスのコンテンツを学びながら日本語の総合的な運用力を伸ばすことを目指した日本語教材です。

本書作成のきっかけは2006年に遡ります。当時私は、担当していたビジネス日本語のコースで、ビジネスコミュニケーションを円滑に行うための練習やビジネスマナーの理解を深めるような学習を中心にしていましたが、それに加えて、学習者が自身の考えを表現し、お互いに学び合えるような学習の場を作りたいと考え始めていました。折しも米国のビジネス外国語教育では、ビジネススクールで行われるケースメソッドを応用し、ビジネスケースを使って外国語を教えるという提案がされ始めた頃でした。私はその研修を受け、特にケースメソッドがディスカッションという協働作業を重視した知的な探求をする学習法であるという点に着目し、ぜひクラスに取り入れてみたいと考えました。それから1ユニットずつ作成してはクラスで実践、改善することを繰り返して、試行錯誤しながら進めてきました。

教材を作成するにあたって特に工夫したのは、コンテンツのテーマです。学習者に身近で、かつ自分を取り巻く文化・社会、そして他の国の文化・社会まで考えることができる題材をと考え、誰もが知っているグローバルな企業のケースを取り上げています。

本書を使った学習は学生の主体的な参加が重視されます。それぞれ違う個性や経験、意見を持った学生たちの協働作業を中心にした学びに、一つとして同じものはありません。「1冊の教材」が与える範囲をはるかに超えた、非常にダイナミックな学習となります。本書がそのような学習の一端を担い、中・上級レベルの日本語クラスでお役に立てば幸いです。

2014年5月

高見智子

Acknowledgments

Numerous people and organizations have kindly given their assistance in the development of this teaching material. First of all, I express my deepest gratitude to Dr. Michio Tsutsui, Editor-in-Chief, for his thorough review and valuable suggestions. Not only did he help me improve the quality of the materials, but he also taught me about language instruction; I thought of him as my mentor throughout the project. Ms. Chiaki Sekido of the Japan Times was also a great help in refining the material and in the process of publication. I am thankful to each company that I have chosen to discuss in this material, namely Coca-Cola (Japan), Nintendo, Coach, Walmart, and Toyota, for their understanding of the purpose of this textbook, their input, and/or permission to use their photos.

The development of the pilot material was supported by SAS Language Innovation Grants funded by the University of Pennsylvania in 2006 and 2007, and further expansion was supported by a First Annual Business Language Research and Teaching Grant funded by the CIBER Consortium for Business Language Research and Teaching in 2007. This support made it possible for me to work on the content development with Ms. Tomoe Morishima, then an MBA student in the Wharton Business School. I would also like to express my appreciation to Dr. Takeshi Matsui, Professor at Hitotsubashi University, for generously reviewing the content and giving me advice on teaching that uses business cases. Furthermore, I also thank the teachers at other institutions who tried out the pilot material in their Japanese classes. Their input was very helpful.

I would also like to express my gratitude to the people and organizations at the University of Pennsylvania. I am thankful to PennLauder CIBER and the Center for East Asian Studies for their support on my research and professional development, and to the Japanese Language Program in the Department of East Asian Languages and Civilizations and Penn Language Center for the opportunity to teach this class. I appreciate all the advice, encouragement, and support from my colleagues there. Most of all, I am thankful to the students in my Business Japanese/Japanese for the Professions courses for their input and support; it was my pleasure to see them excitedly learn Japanese through business cases.

Lastly, I would like to send my special thanks and love to my two boys, Tyler and Alex; it is my dream that someday you two will enjoy learning Japanese using this textbook.

Tomoko Takami

本書について	8
--------	---

ユニット1 日本コカ・コーラ

1

ステージ1 ▶ 前作業 (話し合しましょう)	2
ステージ2 ▶ 読み物：コカ・コーラの日本でのローカライゼーション	6
■語彙表 / ■知っておくべきビジネス用語 / ■内容確認 / ■文法1~5	
ステージ3 ▶ 練習	13
A. 語彙練習 / B. 文法練習 / C. 表現練習	
ステージ4 ▶ タスク	20
1. ジグソータスク / 2. ディスカッション / 3. 意思決定タスク	

ユニット2 任天堂

にんてんどう

25

ステージ1 ▶ 前作業 (話し合しましょう)	26
ステージ2 ▶ 読み物：任天堂のゲーム産業への挑戦	30
■語彙表 / ■知っておくべきビジネス用語 / ■内容確認 / ■文法1~5	
ステージ3 ▶ 練習	38
A. 語彙練習 / B. 文法練習 / C. 表現練習	
ステージ4 ▶ タスク	44
1. ジグソータスク / 2. ディスカッション / 3. 意思決定タスク	

ユニット3 コーチ

49

ステージ1 ▶ 前作業 (話し合しましょう)	50
ステージ2 ▶ 読み物：コーチのアクセシブル・ラグジュアリー・ブランドとしての成功と日本進出	54
■語彙表 / ■知っておくべきビジネス用語 / ■内容確認 / ■文法1~5	
ステージ3 ▶ 練習	62
A. 語彙練習 / B. 文法練習 / C. 表現練習	
ステージ4 ▶ タスク	68
1. ジグソータスク / 2. ディスカッション / 3. 問題解決タスク	

ユニット4 ウォルマート

71

ステージ1 ▶ 前作業 (話し合しましょう)	72
ステージ2 ▶ 読み物: ウォルマートの基本戦略と日本進出	76
■語彙表 / ■知っておくべきビジネス用語 / ■内容確認 / ■文法1~5	
ステージ3 ▶ 練習	84
A. 語彙練習 / B. 文法練習 / C. 表現練習	
ステージ4 ▶ タスク	90
1. ジグソータスク / 2. ディスカッション / 3. 問題解決タスク	

ユニット5 トヨタ

93

ステージ1 ▶ 前作業 (話し合しましょう)	94
ステージ2 ▶ 読み物: トヨタのモノづくりと人づくり—その理念とグローバル展開	98
■語彙表 / ■知っておくべきビジネス用語 / ■内容確認 / ■文法1~5	
ステージ3 ▶ 練習	106
A. 語彙練習 / B. 文法練習 / C. 表現練習	
ステージ4 ▶ タスク	112
1. ジグソータスク / 2. ディスカッション / 3. 問題解決タスク	

巻末

117

●ジグソータスク用カード (カードb / カードc / カードd / カードe / カードf)	118
---	-----

索引	127
----	-----

別冊

* 解答・解答例	1
* 本書をお使いになる先生方へ	13

本書について



本書のねらい

本書は、ビジネスケースメソッドを使った、中・上級学習者のための教材です。実在する企業のビジネスケースを題材とし、内容と言語の総合的な学習＝「内容重視の言語教育」(Content-Based Instruction; CBI)をしながら、中・上級学習者の日本語の力をさらに伸ばすことをめざしています。各ユニットでは、実在する企業の海外進出の事例をもとに、グローバリゼーションやローカライゼーションを考えていきます。

本書は、いわゆるビジネス日本語(名刺のわたし方、電話のかけ方、会議・交渉の仕方など)を学ぶ教材ではありません。ビジネスの側面から各国の文化事情や社会状況の考察を行い、それに関わる表現活動を通じて日本語の語彙力・文法力をつけるとともに、コミュニケーション力を高めることをねらいとしています。



クラスでの学習

本書は、クラスで使うことを想定しています。自分の経験やリサーチの結果を話したり、グループ内で意見を出し合って一つの意見にまとめたりするような、一つの正解を持たない活動が数多く含まれています。初めは難しいかもしれませんが、言い間違えたり分からない言葉があったりしても、自分が持っているすべての知識やストラテジーを使って情報や意見を伝えることが重要です。また、相手が分かっているかどうか確認したり、相手の言うことが分からない場合はやさしく言い替えてもらうように頼むなど、「意味の交渉(negotiation of meaning)」を行って、積極的にコミュニケーションしてください。おたがいの意見を共有し議論する活動は、ダイナミックな知的探求活動になることでしょう。



本書の構成

本書は、以下の5つの企業を、1ユニットごとに取り上げます。新しい商品の開発、自国・他国で成長するためのビジネス戦略、企業活動を支える考え方、などを読み、これを題材に日本語の力を伸ばしていきます。

ユニット1：日本コカ・コーラ / ユニット2：任天堂 / ユニット3：コーチ /
ユニット4：ウォルマート / ユニット5：トヨタ

各ユニットはそれぞれ独立していますが、言語面・内容面ともに、ユニットが進むにしたがって少しずつ難しくなっていきます。

各ユニットの構成

各ユニットは、4つのステージで構成されています。

▼ステージ1：前作業（話し合しましょう）

そのユニットのテーマと自分の日常生活との関連を考えたり、企業に関する背景情報やデータを知って、「読み物」を読むための準備をします。学習者同士で知っていることや意見を話し合い、新しいトピックへの興味を高めていきます。

▼ステージ2：読み物

ユニットの中心となる「読み物」を読み、内容を理解します。読み物の語彙は旧日本語能力試験2級レベルが中心で、それにビジネス用語や経済用語も含まれています。ユニットが進むにつれて、旧1級レベルの語彙も増えていきます。

読み物は、チャレンジできる人はできるだけ何も参照せずに、また必要であればステージ内の「語彙表」や「文法」を参照しながら、読んでいきましょう。読み物の後の「内容確認」の問題は、スキミングやスキミングの練習になります。

▼ステージ3：練習

ステージ3には、「語彙練習」「文法練習」「表現練習」の3つの練習があります。語彙や文法が適切に使えるよう、まず語彙練習・文法練習をしてから、表現練習を行います。表現練習は、読み物の各段落を要約する問題と、読み物に関する質問に答える問題で、学習した語彙・文法を使って表現する練習をします。読み物をもう一度しっかり読んで内容や表現を確認し、解答する時は何も見ないで自分の言葉で答えましょう。

▼ステージ4：タスク

ステージ4は、コミュニケーションタスクを行います。「ジグソータスク」「ディスカッション」と、「意思決定」や「問題解決」をするケース問題があります。そのユニットで学習した語彙や文法だけでなく、自分が持っている日本語の知識や能力をフルに使って話しましょう。

- ・ジグソータスク：段落ごとにバラバラになっている文章を、グループ作業で一つにまとめるタスクです。グループで1人1段落ずつ文章を読み、その内容をそれぞれが自分の言葉で説明してから、みんなで話し合っ**て適切な順番に並べるとい**う、「読む・話す・聞く」の総合的な活動です。
- ・ディスカッション：各ユニットで学んだことや自分の経験をもとに、与えられたテーマに沿って、それぞれの意見を交換します。
- ・ケース問題：ユニットによって「意思決定タスク」または「問題解決タスク」を行います。ビジネスの課題（どんな新商品を発売するか、売り上げをさらに上げるにはどうすればいいか、など）を追加資料も検討しながら議論をした上で、グループで最もいいと考える結論を出していく活動です。

ビジネスケースについて

教材を作成するにあたっては、学習者に身近で興味を持ちやすい実際の企業のビジネスケースを通して、知的な探求ができるように工夫しました。企業がグローバル化する際には、国境を越えて共通化、均一化する努力をする一方で、それぞれの国の市場の動向や価値観を考慮し、最適なビジネス戦略を実行していく「ローカライゼーション」も必要です。そのような課題に挑戦し続けるグローバル企業にはそれぞれのストーリーがあり、そのストーリーを通して、学習者が自分を取り巻く文化・社会と同時に、他国の文化・社会を考えるような内容にしました。

なお、各ユニットで扱うケースは、実在する企業のある時点における話なので、授業の時には状況が変わっている可能性があります。必要に応じてインターネットや新聞などで最新の情報を調べることで、また新しい学習機会が生まれるでしょう。